

平成22年度

機構図及び事務分掌

道 路 局

道路局
局長<技監兼務>
(2740)

副局長(事)島田晴規
(2741)

総務部
部長<副局長兼務>

計画調整部
部長(技)小山孝篤
(2745)

総務課
課長(事)井上幸一
(2742)
<危機管理推進担当兼務>

交通安全・
放置自転車課
課長(事)松井伸明
(2775)
担当課長(事)滝口英仁
(2294)

企画課
課長(技)島田健治
(2746)
担当課長(事)鶴川博
(資産活用推進担当、2756)
担当課長(技)秋山禎治
(都市計画道路担当、2937)
担当課長(技)山田耕作
(都市計画道路担当、4307)
担当課長(技)橋本孝二
(交通計画担当、2755)
担当課長(技)柳井和彦
(交通計画担当、4305)
担当課長(技)永瀬一典
(鉄道交差調整担当、2757)

技術監理課
課長(技)中島卓朗
(2754)

担当係長(技)川名秀
【主担任:技術監理業務】
担当係長(技)金下健二
【主担任:検査業務】

- 1 土木工事に関する技術基準等の作成並びに指導及び研修(他の局、部の主管に属するものを除く。)
- 2 土木工事に係る設計単価、歩掛り等の作成及び調整
- 3 局所管の請負工事(道路の附属物としての照明施設等及び道路用エレベーター等(以下「道路照明施設等」という。))に係る工事並びに河川施設の機械、電気及び建築工事を除く。)の検査及び局所管の請負工事等の安全管理等
- 4 局所管の国庫補助事業に係る会計実地検査の連絡調整
- 5 その他技術監理

- 4 都市計画道路の事業認可に係る原案の調整
- 5 駅前広場の計画
- 6 交通結節点の計画、整備及び調整(都心、新横浜都心及び京浜臨海部を除く。)
- 7 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進のためのバリアフリー基本構想等
- 8 バス交通等の交通施策調整
- 9 地域交通サービスに係る事務
- 10 道路事業に係る総合調整
- 11 局所管の国直轄事業に係る国等との連絡調整
- 12 都市計画道路用地の先行取得の調整
- 13 財団法人横浜市道路建設事業団
- 14 踏切道改良事業の調整
- 15 道路と鉄道との立体交差事業の計画及び調整
- 16 鉄道建設に伴う道路に係る調整
- 17 鉄道立体化事業
- 18 横浜新都市交通株式会社
- 19 局の事務事業の広報等の企画、調整及び実施に関すること。
- 20 部内他の課の主管に属しないこと

庶務係
係長(事)西野誠

- 1 局内の文書
- 2 局内の事務事業の連絡調整
- 3 道路に関する諸団体との連絡調整
- 4 局事業の啓もう
- 5 局の危機管理
- 6 他の部、課、係の主管に属しないこと

職員係
係長(事)黒川正人
担当係長(事)富田雅信
担当係長(技)馬場明希

- 1 局内の人事
- 2 職員の勤務条件及び給与
- 3 職員の福利厚生
- 4 職員の衛生管理
- 5 職員の研修計画及び実施(他の課の主管に属するものを除く。)
- 6 その他労務

経理係
係長(事)瀧澤朋之

- 1 局内の予算及び決算
- 2 局内の予算執行の調整
- 3 公共土木事業の連絡調整
- 4 局内の諸契約
- 5 局内の物品及び資材の出納保管
- 6 その他経理

担当係長(事)藤田陽三
担当係長(事)藤原則弘
【主担任:放置自転車対策業務】
担当係長(事)丹羽仁志
【主担任:交通安全対策業務】

- 1 自転車等の放置防止対策及び放置防止に係る総合調整
- 2 自転車等対策事業指針
- 3 自転車駐車場設置に係る調整
- 4 自転車駐車場及び保管場所の運営管理
- 5 民営自転車駐車場の整備助成
- 6 交通安全対策の企画及び連絡調整
- 7 交通安全の普及及び奨励
- 8 交通安全運動
- 9 違法駐車等の防止対策
- 10 横浜市違法駐車等防止委員会
- 11 横浜市交通安全対策会議
- 12 交通関係の調査、資料の収集
- 13 交通安全対策に係る関係行政機関及び関係諸団体との連絡調整

担当係長(事)山下隆幸
【主担任:調整業務】
担当係長(技)桐山大介
【主担任:街路業務】
担当係長(技)川北好伸
【主担任:道路業務】
担当係長(技)酒井博之
【主担任:企画業務】

担当係長(事)小田切巧
(資産活用推進担当)
担当係長(事)駒形俊文
担当係長(技)西岡毅
担当係長(技)栗本高史
(都市計画道路担当)
担当係長(技)山本和弘
担当係長(技)岡哲郎
担当係長(技)森田善文
(交通計画担当)
担当係長(技)菊地伸之
(鉄道交差調整担当)

- 1 道路事業(土地区画整理事業に係るものを除く。)の企画及び基本計画の策定並びに実施計画の調整
- 2 道路事業(土地区画整理事業に係るものを除く。)の執行調整及び国庫補助申請等
- 3 都市計画道路の計画

道 路 部
部 長(技)末 廣 良 和
(2749)

維 持 課
課 長(技)長 瀬 満
(2750)

調 整 係
係 長(技)上田祐一郎
担当係長(消)栗原政幸

- 1 土木事務所との連絡調整（他の局、部、課の主管に属するものを除く。）
- 2 道路の維持修繕、舗装及び道路改良の企画並びに連絡調整
- 3 道路の掘削跡復旧
- 4 私道舗装等整備助成に関する企画及び連絡調整
- 5 道路災害の連絡調整
- 6 局所管事業から発生する残土及び舗装廃材等の処分並びに再生利用の調整
- 7 部内他の課、係の主管に属しないこと

指 導 係
係 長(技)水谷俊之

- 1 都市計画法等に基づく開発行為、住宅地造成事業及び宅地造成工事により設置される道路その他の道路の審査、検査及び指導並びに違反工事の連絡（土木事務所の主管に属するものを除く。）

管 理 課
課 長(事)新 藤 信 孝
(2753)

管 理 係
係 長(事)並 木 裕

- 1 道路の管理に係る関係諸機関との協定等
- 2 道路の管理等に係る事故処理、不服申立て、訴訟等
- 3 道路の監察の調整
- 4 道路の損傷等の調整
- 5 特殊車両の通行許可（他の局、部、課の主管に属するものを除く。）
- 6 車両制限令の施行（他の部、課の主管に属するものを除く。）
- 7 道路運送法による道路の現況調査
- 8 道路における不法占用の防止等の連絡調整に関すること（土木事務所の主管に属するものを除く。）
- 9 その他道路の管理（他の部、課の主管に属するものを除く。）
- 10 他の係の主管に属しないこと

占 用 係
係 長(事)吉 沢 謙 治

- 1 道路占用の総合調整
- 2 電線類地中化の連絡調整
- 3 道路（道路予定区域を含む。）の占用許可（建設部建設課及び土木事務所の主管に属するものを除く。）
- 4 道路占用料及び路面復旧監督費（道路予定区域における占用料及び路面復旧監督費を含む。）の徴収（建設部建設課及び土木事務所の主管に属するものを除く。）
- 5 道路工事等の連絡調整

路 政 課
課 長(事)針ヶ谷 真
(2743)

担当係長(事)石丸雄司
【主担任:南部業務】
担当係長(事)岡本栄里
【主担任:北部業務】

- 1 道路の路線の認定、廃止及び変更並びに道路の区域の決定及び変更
- 2 道路の供用の開始等
- 3 都市計画法等に基づく開発行為、住宅地造成事業及び宅地造成工事により設置される道路の帰属及び管理並びにこれらに係る協議
- 4 廃止道路の譲与申請
- 5 道路用地に係る権利関係等の整理及び登記
- 6 私有道路を市道に認定するための測量に要する費用の助成

施 設 課
課 長(技)中 村 信 治
(3557)

担当課長(技)福元清己
(バリアフリー対策等担当、3559)
担当課長(事)岡本学
(2730)

担当係長(技)横本治
【主担任:交通安全施設、街路樹、庶務業務】
担当係長(技)川崎健
【主担任:電線共同溝、清掃、歩道橋業務】
担当係長(技)桑原弘至
【主担任:電気設備業務】
担当係長(技)渡辺吉清
【主担任:バリアフリー、自転車及び自動車駐車場業務】

- 1 道路の安全施設の計画、設計等（他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。）
- 2 道路の安全施設等の維持及び修繕（他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。）
- 3 道路の附属物としての駐車場の計画、設計、管理等
- 4 自転車駐車場の整備に係る調整
- 5 街路樹の調査
- 6 街路樹の管理
- 7 街路緑化工事の計画、設計等
- 8 標識の設置等
- 9 電線共同溝事業等の計画、設計等（他の部、課の主管に属するものを除く。）
- 10 道路の災害復旧工事及び防災工事の設計等
- 11 道路照明施設等の新設、維持及び修繕（他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。）
- 12 道路照明施設等に係る連絡調整
- 13 道路照明施設等に係る設計審査及び工事検査並びに道路照明施設等の引継ぎ

横浜環状道路担当理事
(技)三好誠人
(3638)

建設部
部長(技)新倉芳樹
(3960)

横浜環状道路
調整部
部長(技)池本裕生
(2889)

道路調査課
課長(技)中村均
(2744)

建設課
課長(技)松尾寛
(2747)
担当課長(技)佐野宣司
(建設担当、2798)
担当課長(事)有野秀文
(用地担当、2734)
担当課長(事)武正義
(用地担当、2787)
担当課長(事)本間雅人
(用地活用推進担当、3497)

橋梁課
課長(技)乾晋
(2752)

事業調整課
課長(技)市園政幸
(3985)
担当課長(技)石丸潔
(横浜環状道路担当、2758)
担当課長(技)濱田禎
(横浜環状道路担当、2799)

調査係
係長(事)石波治郎

担当係長(技)落合深
担当係長(技)宮腰恒秀
【主担任:維持管理業務】

- 1 道路等と民地との境界調査に係る調整(土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 2 市境における道路等と民地との境界の調査
- 3 市境における境界調査図の謄本の交付及び道路等と民地との境界の承認
- 4 道路台帳図等の謄本の交付及び境界の承認
- 5 局に属する財産の管理及び調整(他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 6 道路に関する資料の収集、調査及び統計
- 7 道路台帳の閲覧
- 8 他の係の主管に属しないこと

担当係長(技)清水寛司
担当係長(技)谷津毅
担当係長(技)櫻井暁人
【主担任:北部建設業務】
担当係長(技)安達秀昭
担当係長(技)藤江千瑞
担当係長(技)渡邊伸郎
担当係長(技)五十嵐中也
【主担任:南部建設業務】

- 1 橋りょう(地下道等を含む。以下この部中同じ。)の調査、設計等(他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 2 橋りょうの維持及び修繕(他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 3 橋りょうの耐震対策
- 4 橋りょう台帳
- 5 橋りょうの荷重制限及び特殊車両の通行に係る審査
- 6 道路管理者以外の者が行う橋りょう工事の設計審査及び橋りょうの引継ぎ
- 7 道路管理者以外の者が行う橋りょう添架工事等の審査

道路台帳係
係長(技)中里克己

担当係長(事)山田勇
【主担任:庶務・経理業務】
担当係長(事)中山正己
担当係長(事)仁井田尊史
担当係長(事)羽田雅行
担当係長(事)柴原茂樹
担当係長(事)中村治之
担当係長(事)名倉孝一
(用地担当)
【主担任:北部用地業務】
担当係長(事)原康夫
担当係長(事)皆川宗治
担当係長(事)窪谷雅敏
担当係長(事)山口正信
(用地担当)
【主担任:南部用地業務】
担当係長(事)中里浩一郎
(用地活用推進担当)
【主担任:用地収用等業務】

- 1 道路台帳の整備及び閲覧
- 2 公共基準点
- 3 局主管事務事業に係る測量の技術的指導及び調整

担当係長(技)居塚宣明
担当係長(技)秋本圭一
【主担任:南線業務】
担当係長(技)西嶋祐一
担当係長(技)加藤日出美
【主担任:北線業務】
担当係長(技)井深美江
担当係長(事)橋本幹雄
【主担任:北西線業務】

- 1 横浜環状道路等高速道路の都市計画決定に係る原案の作成
- 2 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業
- 3 横浜環状道路等高速道路の建設に伴う関係機関・団体との連絡調整
- 4 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業予定地の管理
- 5 その他高速道路

- 1 道路整備事業(橋りょう等を含む。以下この部中同じ。)に係る関係諸機関との調整、協定等(他の課の主管に属するものを除く。)
- 15 部内他の課の主管に属しないこと

区役所土木事務所職員は、
環境創造局・道路局を兼務

河川部
部長(技)中田穂積
(2817)

土木事務所

河川管理課
課長(事)池谷充隆
(2819)

河川計画課
課長(技)安田邦彦
(2818)

河川事業課
課長(技)石川眞
(3981)

副所長

担当係長(事)福 涉 一
【主担任:河川管理業務】
担当係長(事)駒飼恵里子
【主担任:水路管財業務】
担当係長(技)富永裕之
【主担任:河川維持業務】

担当係長(技)宮本義徳
【主担任:河川調整業務】
担当係長(技)岩山 剛
【主担任:河川計画業務】
担当係長(技)松久保義治
【主担任:開発協議業務】

担当係長(技)福田勝宏
【主担任:北部担当】
担当係長(技)時尾嘉弘
【主担任:南部担当】
担当係長(事)石森治雄
(用地担当)

管理係

道路係

下水道・公園係

- 1 市が管理する河川(以下この部中「管理河川」という。)、一般下水道及び調整池の土地の占用及び占用料の徴収等(河川法(昭和39年法律第167号)第4条第1項に規定する一級河川(以下「一級河川」という。))の占用料の徴収を除く。)
- 2 管理河川及び一般下水道の管理者以外の施行する工事等の承認
- 3 開発行為等に伴う管理河川、一般下水道及び調整池の指導及び管理に係る協議
- 4 管理河川、一般下水道及び調整池の不法占用
- 5 管理河川、一般下水道及び調整池等の維持管理
- 6 都市基盤改修河川の維持
- 7 課所管工事の工所用資材及び器材の検査
- 8 一般下水道の工事等
- 9 管理河川、一般下水道及び調整池の新設及び用途廃止(一級河川の指定等を除く。)並びに寄附及び譲渡等
- 10 河川管理権限の移譲
- 11 水防
- 12 河川愛護思想の普及
- 13 水辺愛護会
- 14 河川管理台帳
- 15 一般下水道及び調整池の財産管理及び土地に係る権利の得喪変更
- 16 都市計画法等に基づく開発行為等により設置される一般下水道及び調整池の帰属

- 1 河川事業の基本方針及び実施の計画
- 2 河川事業の執行調整及び国庫補助申請等
- 3 河川の都市計画決定
- 4 河川事業に係る統計、調査及び研究
- 5 河川の流域対策の計画
- 6 総合治水対策の推進
- 7 開発事業調整条例第18条第2項第5号に基づく雨水流出抑制施設に係る開発事業計画の同意に係る審査、指導等
- 8 特定都市河川浸水被害対策法(平成15年法律第77号)第9条から第31条までの規定に基づく雨水浸透阻害行為に係る許可、保全調整池の指定等
- 17 事務処理の特例に関する条例(平成11年神奈川県条例第41号)別表第125項の2及び第126項の規定による国有財産法(昭和23年法律第73号)に基づく事務並びに同表第156項及び第156項の3の規定による不動産登記法(平成16年法律第123号)に基づく事務(管理河川の用に供されている国土交通省所管不動産に係るものに限る。)
- 18 管理河川、一般下水道及び調整池に係る土木事務所との連絡調整
- 19 部内他の課の主管に属しないこと

- 1 河川工事及び流域対策工事の設計及び施行
- 2 河川工事等に係る用地の測量その他の技術的調査
- 3 河川の災害復旧
- 4 課所管工事の工所用資材及び器材の検査
- 5 課所管工事に伴い生ずる被害の補償等
- 6 河川整備事業に係る用地(以下この部中「事業用地」という。))の取得、借受け、地上権設定等並びにこれらに伴う補償、契約及び登記手続
- 7 事業用地、物件等の調査
- 8 事業用地の取得等に伴う租税特別措置法等に基づく手続
- 9 事業用地の取得等に係る諸証明
- 10 事業用地の取得、借受け及び地上権等の設定並びにこれらに係る補償に伴う経理事務
- 11 河川整備事業予定地の管理及び代替地
- 12 課主管事務事業に係る事業用地の収用手続

平成22年度

事業概要

道路局

目 次

ページ

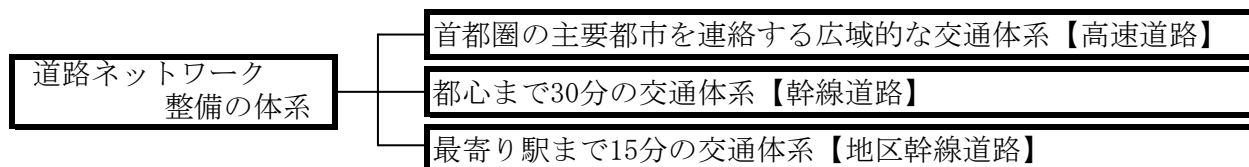
平成22年度 道路局事業について	1
主な完成予定施設	3
道路局予算総括表	4
1 高速道路の整備等	5
2 都市計画道路等の整備	7
3 国道及び主要地方道等の整備	9
4 駅まで15分道路等の整備	11
5 道路の維持・管理	13
6 橋りょう等の維持・補修	15
7 地域交通対策	17
8 交通安全対策	19
9 放置自転車対策	20
10 自動車駐車場事業	20
11 河川等の整備	21
12 河川等の維持・管理	23
13 その他事業	25

平成22年度道路局事業について

道路分野では**道路整備、道路維持管理、地域交通対策、交通安全対策**の4つの柱を軸として、河川分野では**河川整備、河川維持管理**の2つの柱を軸として、限られた財源の中でより効果が発現されるよう選択と集中を図り、効率的に事業を行ってまいります。

I 道路整備

市民生活と経済活動を支える、効率的で効果的な道路ネットワーク等を実現するため、次の3つの道路整備を進めます。



○高速道路の整備等

横浜環状道路は、関連街路を含め、南線・北線の整備を進めます。北西線は、22年度内の都市計画決定を目指して手続きを進め、早期の事業化を図ります。また、横浜湘南道路の整備を進めます。

○都市計画道路、国道及び主要地方道等の整備 [幹線道路の整備]

環状道路では、環状3号線や環状4号線、放射道路では横浜藤沢線や横浜伊勢原線など、重点路線の早期供用を目指し、都市計画道路の整備を進めます。また、国道1号（不動坂交差点）の改良など、国道及び主要地方道等の整備も進めます。

○駅まで15分道路の整備 [地区幹線道路の整備]

「最寄り駅まで15分の交通体系」を実現する施策の一つとして、都筑区藪根交差点付近の主要地方道横浜上麻生等の路線において、交差点改良等によるボトルネック解消や駅前広場、駅周辺道路等公共交通機関の利便性向上につながる路線などの整備を進めます。

II 道路維持管理

歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路を適切に維持管理します。

○道路の維持・管理

道路の計画的な修繕を行うとともに、道路の点検をきめ細かく行い、舗装補修を迅速に行うなど、市民の皆様の要望に的確に対応します。

車道等の清掃やハマロード・サポーター事業、道路照明灯やエレベーター等の保守・管理、街路樹や植樹帯の維持管理を行います。

○橋りょう等の維持・補修

橋りょうを資産としてとらえ、計画的かつ効率的に維持管理する「アセットマネジメント」の考え方にに基づき、橋りょうの維持・補修及び長寿命化の推進等を行うとともに、河川改修に伴う架替えを行います。

地震に強い都市に向け、橋りょうの地震対策、トンネルの補修を行います。

Ⅲ 地域交通対策

誰もが安心して安全に利用できる交通体系の実現を推進します。

- 横浜市生活交通バス路線の維持支援
- 地域交通サポート事業の推進
- まちのバリアフリー化の推進
- 横浜新都市交通(株)への支援 など

Ⅳ 交通安全対策

歩行者の安全と円滑な道路交通の確保に取り組みます。

○交通安全対策

歩道や道路照明灯等の交通安全施設を整備・補修し、事故多発箇所では交差点改良等を行います。また、あんしんカラーベルトを通学路等に整備します。さらに、交通安全運動や交通安全教育を行います。

○放置自転車対策

駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、引き続き自転車等放置防止対策を進めるとともに、自転車駐車場の管理運営や整備を行います。

○自動車駐車場事業

安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。

Ⅴ 河川整備

台風や集中豪雨から市民の生命や財産等を守るため、河川整備を進めます。

- 護岸改修や河川遊水地の整備など、河川の改修
- 学校や公園を活用した流域貯留施設の整備
- 市民の憩いの場となる水辺拠点など、河川環境の整備 など

Ⅵ 河川維持管理

流水・貯留機能を確保するため、河川等の維持管理を行います。また、洪水等の浸水被害を軽減するため、水防事業に取り組みます。

- 河川・水路等のしゅんせつなどの維持管理
- 水防災情報の提供、親水拠点への警報装置の設置
- 水辺愛護会等との協働による美化活動の推進 など

平成22年度 主な完成予定施設

番号	施設名	説明
1	川崎町田線 (佐江戸地区)	都筑区佐江戸町の出崎橋交差点付近から都筑水再生センター付近までの延長約760mの区間が完成し、第三京浜道路から保土ヶ谷バイパスが4車線で結ばれます。
2	横浜伊勢原線 (和泉・上飯田地区)	泉区上飯田町の環状4号線と泉坂上交差点から藤沢市境までの延長約630mの区間が完成し、国道1号から藤沢市境まで全線が結ばれます。(平成23年度完成予定を前倒し)
3	市道大黒橋通線 (新興駅交差点) など 10箇所の駅まで15分道路等	鶴見区大黒町の新興駅交差点に、大黒ふ頭から新子安方向への左折車線が完成するなど、市内で10箇所の駅まで15分道路等の整備が完了します。
4	見晴橋	経年劣化に伴い車両通行止めとしていた、中区新山下運河に架かる見晴橋(中区新山下二丁目)の架替えが完了します。(橋長28.3m、幅員13.5m)
5	境川橋など5橋	河川改修事業にあわせて実施していた、泉区境川に架かる境川橋(泉区上飯田町～藤沢市高倉)など、市内で5橋の架替えが完了します。(境川橋:橋長31.2m、幅員7m)
6	泉が丘中学校など 4箇所の流域貯留施設	泉が丘中学校(泉区和泉町)等4箇所で、流域貯留施設(※)が完成します。 ※河川への雨水の流出を抑制する施設
7	鍋屋の森水辺広場	自然環境を活かした市民に身近な水辺空間として、泉区和泉川に鍋屋の森水辺広場(泉区和泉町)が完成します。

道路局事業の現況

- ◎ 管理道路延長 7,548km(H22.4.1時点)
うち 幅員5.5m未満 3,681km 49%
5.5m～13.0m未満 3,326km 44%
- ◎ 歩道の整備率(H21年度末)
20.6%(歩道設置延長/本市管理延長)
- ◎ 都市計画道路の整備率 65.6%(H21年度末)

主な政令市の整備率 (H19年度末)	名古屋市	91.8%
	神戸市	88.2%
	大阪市	87.1%
	京都市	70.9%
	横浜市	64.5%

- ◎ 踏切5箇年整備計画(H18～22年度) 31箇所
完了箇所:24箇所(H21年度末)

- ◎ バリアフリー基本構想の策定(H21年度末)
(優先度の高い拠点駅から順次策定)
策定済み 8区 21駅
策定中 3区 4駅

- ◎ 市内の交通事故死傷者数
18,546人(H21実績) 前年比▲881人

- ◎ 河川整備状況(時間降雨量50mm対応・H21年度末)

分類(河川数)	計画延長	整備延長	整備率
都市基盤河川(18)	136.5km	123.8km	90.6%
準用河川(10)	33.9km	22.5km	66.4%
合計(28)	170.4km	146.3km	85.8%

平成22年度 道路局予算総括表

<一般会計>

(単位：千円)

科 目	22年度予算	21年度予算	差引増△減	増△減率
歳 出	70,450,566	77,767,400	△ 7,316,834	△ 9.4%
11款 道路費	68,146,854	75,325,249	△ 7,178,395	△ 9.5%
1項 道路維持管理費	24,910,318	25,220,954	△ 310,636	△ 1.2%
2項 道路整備費	37,851,836	44,022,290	△ 6,170,454	△ 14.0%
3項 河川費	5,384,700	6,082,005	△ 697,305	△ 11.5%
16款 諸支出金	2,303,712	2,442,151	△ 138,439	△ 5.7%

財源内訳

1 国庫支出金	12,602,157	千円
2 県支出金	1,308,637	千円
3 使用料及び手数料	6,945,595	千円
4 諸収入等	3,498,604	千円
5 市債	15,585,000	千円
6 一般財源	30,510,573	千円
合 計	70,450,566	千円

<自動車駐車場事業費会計>

(単位：千円)

科 目	22年度予算	21年度予算	差引増△減	増△減率
歳 出	1,272,908	1,261,639	11,269	0.9%
1款 自動車駐車場事業費	1,272,908	1,261,639	11,269	0.9%
1項 運営費	418,604	406,626	11,978	2.9%
2項 公債費	853,304	854,013	△ 709	△ 0.1%
3項 予備費	1,000	1,000	—	—

財源内訳

1 国庫支出金	16,775	千円
2 使用料及び手数料	400,228	千円
3 諸収入等	2,601	千円
4 一般会計繰入金	853,304	千円
合 計	1,272,908	千円

I 道路整備

1 高速道路の整備等		
22年度		千円 4,812,212
21年度		4,526,938
差引増△減		285,274
22年度 の 財 源	国費	—
	使用料	7,050
	諸収入等	565
	市債	4,600,000
	一般財源	204,597

※（ ）内の数字は、平成21年度予算額です。

市民生活の利便性の向上、経済活動の活性化に向け、高速道路ネットワーク整備を積極的に進めるとともに、高速道路に関連する道路の調査等を進めます。

○横浜環状道路の整備等

横浜環状道路の南線（横浜横須賀道路～国道1号）及び北線（第三京浜～横羽線）について、関連街路を含め、引き続き整備を進めます。特に、北線では、秋にシールドマシンによるトンネル掘削を開始します。また、横浜湘南道路の整備を引き続き進めます。

北西線（東名高速～第三京浜）について、平成22年度内の都市計画決定を目指して手続きを進め、早期の事業化を図ります。

- | | | |
|-------------------------------|---------------|--------|
| 1 横浜環状南線及び北線の調査 | 20,250 | 千円 |
| ・ 関連街路の予備設計 | (23,250) | |
| ・ 広報 | | |
|
2 横浜環状北西線の調査 |
150,000 |
千円 |
| | (200,000) | |
| ・ 都市計画及び環境影響評価関連資料作成等 | | |
|
3 首都高速道路の整備に対する出資金 | | |
| | 2,400,000 | 千円 |
| ・ 横浜環状北線ほか | (1,841,000) | |
|
4 スカイウォークの管理運営 |
22,183 |
千円 |
| | (82,948) | |
| ・ 上半期は土日祝日等のみ営業し、下半期から休止 | | |
|
5 道路予定地の管理など |
19,779 |
千円 |
| | (13,094) | |
|
6 道路費負担金 |
2,200,000 |
千円 |
| | (2,366,646) | |
| ・ 横浜環状南線及び横浜湘南道路の整備 | | |

I 道路整備

[参考] 平成22年度横浜環状道路関連街路（事業中路線）整備予算 ※ 3,209,000 千円

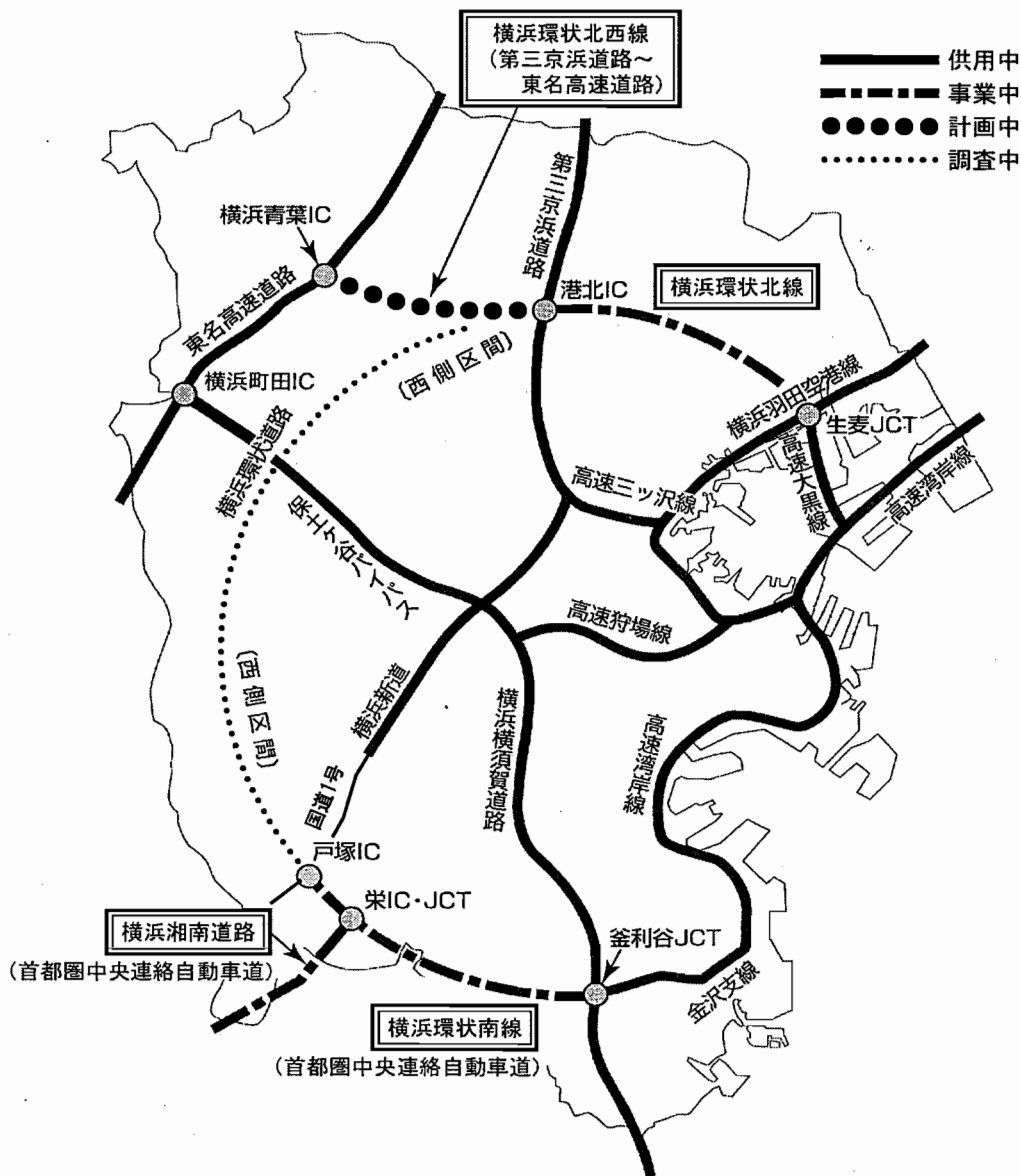
横浜環状南線関連街路

- ・ 横 浜 藤 沢 線（栄区长尾台町～戸塚区小雀町）
- ・ 上 郷 公 田 線（栄区公田町ほか）
- ・ 田 谷 線（栄区田谷町）

横浜環状北線関連街路

- ・ 大 田 神 奈 川 線（鶴見区上の宮一丁目～神奈川区西寺尾一丁目）
- ・ 岸 谷 生 麦 線（鶴見区岸谷二丁目～生麦三丁目）
- ・ 長 島 大 竹 線（港北区新羽町）
- ・ 川 向 線（都筑区川向町）
- ・ 馬 場 出 入 口（鶴見区馬場七丁目）【新規着手】

※別項目「2 都市計画道路等の整備」、「3 国道及び主要地方道等の整備」で計上



I 道路整備

2	都市計画道路等の整備	
	22年度	千円 19,734,435
	21年度	24,833,472
	差引増△減	△ 5,099,037
22年度の財源	国費	8,054,065
	使用料	—
	諸収入等	188,966
	市債	6,255,000
	一般財源	5,236,404

市域の一体性を高めながら、都市機能の強化を図るため、本市の骨格を形成する幹線道路網を整備します。また、都市計画道路網の見直しについて、市民の皆様のご意見を踏まえつつ、都市計画変更に向けた手続きを引き続き進めます。

○環状道路と放射道路等の整備

環状道路では環状3号線及び環状4号線、放射道路では横浜藤沢線及び横浜伊勢原線など、重点路線の早期供用開始を目指し、引き続き事業を進めます。

また、完了期間宣言路線(※)を重点的に整備します。

※ 事業着手後10年以上経過し、用地取得率が90%を超えている路線について、完成時期を公表し事業の促進を図っている路線です。

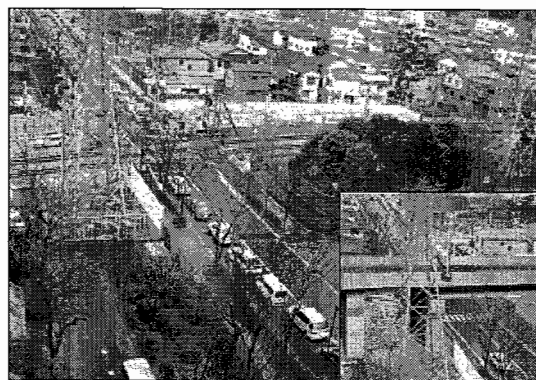
○横浜環状道路等関連街路の整備

横浜環状道路関連として、横浜藤沢線(田谷小雀地区)、大田神奈川線、岸谷生麦線などの整備を引き続き進めます。

また、馬場出入口の整備に着手します。

○連続立体交差事業の推進

相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業を引き続き進めます。



天王町2号路切付近
現況



完成後イメージ

主な事業内容（下線部分は22年度完成予定）

1 道路ネットワークの形成	10,663,185 千円								
(1) 3環状10放射道路等	(14,568,972)								
・環状3号線（戸塚区戸塚町～汲沢町）									
・環状4号線（栄区公田町～中野町）									
・横浜藤沢線（港南区丸山台四丁目～戸塚区舞岡町）									
・ <u>横浜伊勢原線（泉区上飯田町～和泉町）</u>									
・ <u>川崎町田線（都筑区佐江戸町）</u>									
・羽沢池辺線（神奈川区羽沢町～緑区鴨居町）									
・山下長津田線（緑区白山一丁目～鴨居町 等）									
・鴨居上飯田線（旭区本宿町～さちが丘）	ほか								
<p>※完了期間宣言路線</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">横浜伊勢原線（和泉・上飯田地区）</td> <td>平成23年度完了（22年度に前倒しで完了予定）</td> </tr> <tr> <td>山下長津田線（長津田地区）</td> <td>平成23年度完了（駅まで15分道路として整備）</td> </tr> <tr> <td>東京丸子横浜線（日吉地区）</td> <td>平成24年度完了</td> </tr> <tr> <td>下永谷大船線（上倉田舞岡地区）</td> <td>平成25年度完了</td> </tr> </table>		横浜伊勢原線（和泉・上飯田地区）	平成23年度完了（22年度に前倒しで完了予定）	山下長津田線（長津田地区）	平成23年度完了（駅まで15分道路として整備）	東京丸子横浜線（日吉地区）	平成24年度完了	下永谷大船線（上倉田舞岡地区）	平成25年度完了
横浜伊勢原線（和泉・上飯田地区）	平成23年度完了（22年度に前倒しで完了予定）								
山下長津田線（長津田地区）	平成23年度完了（駅まで15分道路として整備）								
東京丸子横浜線（日吉地区）	平成24年度完了								
下永谷大船線（上倉田舞岡地区）	平成25年度完了								
(2) 横浜環状道路関連									
・横浜藤沢線（栄区長尾台町～戸塚区小雀町）									
・大田神奈川線（鶴見区上の宮一丁目～神奈川区西寺尾一丁目）									
・岸谷生麦線（鶴見区岸谷二丁目～生麦三丁目）									
・馬場出入口（鶴見区馬場七丁目）【新規着手】	ほか								
2 駅まで15分道路等の整備	1,579,300 千円								
※ 詳細は別項目「4 駅まで15分道路等の整備」を参照	(1,963,000)								
3 連続立体交差事業	3,020,000 千円								
・相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業 （保土ヶ谷区岩間町～星川三丁目）	(2,672,000)								
4 橋りょうの架替え等	471,950 千円								
・花見橋（南区弘明寺町～大岡二丁目）	(1,629,500)								
・井土ヶ谷橋（南区井土ヶ谷下町～花之木町）									
・大岡川プロムナード再整備（南区宿町）	ほか								
<p>※ このほかに、別項目「3 国道及び主要地方道等の整備」、「6 橋りょう等の維持・補修」、 「11 河川等の整備」においても橋りょうの架替えを計上</p>									
5 助横浜市道路建設事業団への助成	4,000,000 千円								
	(4,000,000)								

I 道路整備

3	国道及び主要 地方道等の整備	
		千円
	22年度	9,490,079
	21年度	12,924,029
	差引増△減	△ 3,433,950
22 年 度 の 財 源	国費	3,261,962
	使用料	—
	諸収入等	291,600
	市債	3,200,000
	一般財源	2,736,517

本市の国道及び主要地方道等の幹線道路の整備を進めます。

○道路改良等

国道1号について、不動坂交差点及び保土ヶ谷橋交差点の改良を進めます。

また、新山下第8号線の見晴橋について、橋の架替えを進め、車両通行止めの解消を図ります。

このほか、横浜環状道路関連として、上郷公田線、田谷線の整備を進めます。

○電線共同溝の整備

災害時の安全性の確保や機能的な道路空間と都市景観の向上のため電線共同溝の整備を進めます。

○交通安全施設等の整備

安全で安心して暮らせる快適な街づくりのため、交通安全施設等整備事業として自転車駐車場の整備、歩道の整備等を進めます。

○踏切道の改良

歩行者の安全性や利便性の向上を図るため、踏切の拡幅やカラー舗装等を実施します。

○沿道環境の改善

沿道環境の改善のため、低騒音舗装を実施します。

○人にやさしい（バリアフリー）歩行空間の整備

安全で快適に移動できる人にやさしい（バリアフリー）歩行者空間の整備を進めます。

○道路費負担金

国が直接管理する市内の国道の整備・管理等に係る費用（道路費負担金）を負担します。

I 道路整備

主な事業内容（下線部分は22年度完成予定）

1 道路改良等	1,340,007 千円
・ 国道1号（不動坂交差点）（戸塚区柏尾町～上矢部町）（1,982,250）	
・ 〃（保土ヶ谷橋交差点）（保土ヶ谷区岩井町～保土ヶ谷町二丁目）	
・ <u>新山下第8号線（見晴橋）（中区新山下二丁目）</u>	
・ 県道川崎町田（青葉区田奈町～恩田町）	
・ 自転車道整備（鶴見区平安町）ほか	
2 横浜環状道路関連の整備	236,000 千円
・ 上郷公田線（栄区公田町等）（350,000）	
・ 田谷線（栄区田谷町）	
3 駅まで15分道路等の整備	2,959,872 千円
※ 詳細は別項目「4 駅まで15分道路等の整備」を参照	(4,362,244)
4 電線共同溝	490,600 千円
・ 環状2号線（鶴見区梶山二丁目～上末吉五丁目）ほか（366,000）	
5 交通安全施設等整備	1,645,600 千円
(1) 自転車駐車場施設の整備（1,874,181）	
・ (仮称)鶴見駅西口第二自転車駐車場（鶴見区豊岡町）ほか <small>H22供用開始予定 約100台</small>	
(2) 歩道の整備等	
・ 星川、天王町地区（保土ヶ谷区）ほか	
6 踏切道の改良	579,000 千円
・ 希望ヶ丘1号踏切（相模鉄道、旭区中希望が丘）ほか（132,000）	
7 沿道環境改善	255,500 千円
低騒音舗装（271,000）	
・ 県道横浜上麻生（港北区岸根町）ほか	
8 人にやさしい（バリアフリー）歩行空間整備事業	183,500 千円
・ 上大岡駅、港南中央駅周辺地区（港南区）ほか（453,000）	
9 道路費負担金	※ 1,800,000 千円
・ 国道357号東京湾岸道路（根岸地区）ほか（3,133,354）	
※ このほかに、別項目「1 高速道路の整備等」においても道路費負担金を計上（22億円）	

I 道路整備

4	駅まで15分 道路等の整備 [再掲]	
22年度	※ 4,539,172	千円
21年度	6,325,244	
差引増△減	△ 1,786,072	
22年度 の 財 源	国費	1,797,260
	使用料	—
	諸収入等	—
	市債	1,103,000
	一般財源	1,638,912

※ 別項目「2 都市計画道路等の整備」「3 国道及び主要地方道等の整備」で計上

1 駅まで15分道路整備事業 4,211,849 千円 (5,801,403)

「最寄り駅まで15分の交通体系」を実現する施策の1つとして、バス路線又は将来バス路線となるような地区幹線道路等の整備を進めます。

具体的には、

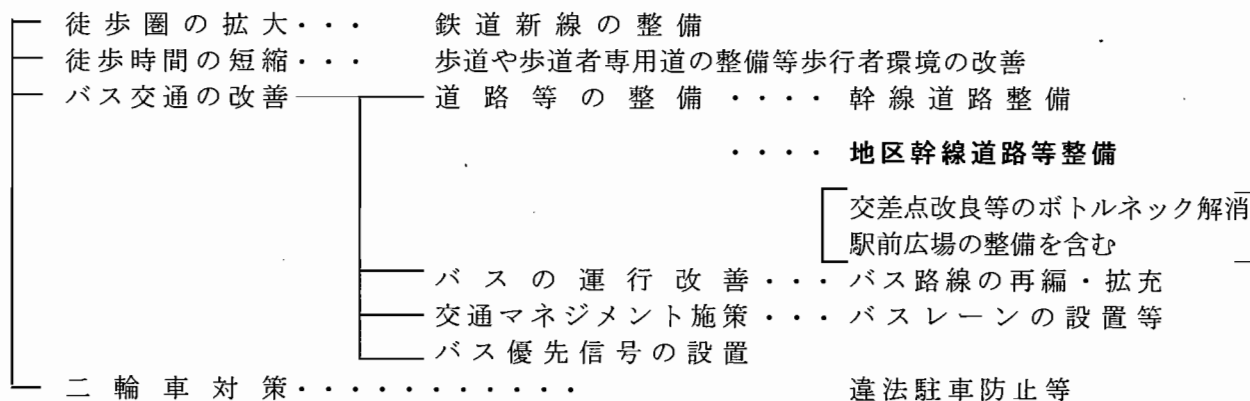
- ・ 交差点改良等によりボトルネック解消につながる路線
- ・ 幹線道路とあわせて整備することにより、効果が一層高まる路線
- ・ 駅前広場、駅周辺道路など公共交通機関の利便性向上につながる路線
- ・ 交通渋滞の解消につながるバスベイ等を整備する路線
- ・ 郊外部の渋滞の激しい交差点を改善するスムーズ交差点プラン

等を対象に、短期間で完成し、大きな事業効果が得られる箇所について重点的に事業を進めます。

2 一般改良事業 327,323 千円 (523,841)

一般改良事業では、道路の部分的な拡幅や交差点の改良等を行います。

[参考] 最寄り駅まで15分の交通体系整備に関する施策体系



主な施行路線名と施行箇所（下線部分は22年度完成予定）

1 駅まで15分道路整備事業（合計59箇所、完成予定7箇所、新規1箇所） [最寄駅]

(1) 交差点改良等によりボトルネック解消につながる路線（13箇所）

- ・ 大黒橋通線（鶴見区大黒町 新興駅交差点） 生麦
- ・ 県道横浜上麻生（都筑区佐江戸町 藪根交差点） 鴨居
- ・ 県道横浜生田（都筑区荏田南町 柚の木交差点） 中川
- ・ 県道横浜生田（青葉区荏田町 荏田町地区） あざみ野
- ・ 県道阿久和鎌倉（泉区和泉町 萩丸交差点） ほか 立場

(2) 幹線道路とあわせて整備することにより、効果が一層高まる路線（31箇所）

- ・ 県道瀬谷柏尾（泉区新橋町 新橋その2地区） **【新規着手】** 弥生台
- ・ 上大岡第149号線（南区大岡五丁目 交番前バス停付近） 上大岡
- ・ 長津田第34号線（緑区长津田四丁目 長津田厚生総合病院） 長津田
- ・ 蒔田第480号線（磯子区岡村七丁目 笹掘交差点付近） 磯子
- ・ 県道横浜生田（港北区新羽町 南台町バス停付近） ほか 新横浜

(3) 駅前広場、駅周辺道路など公共交通機関の利便性向上につながる路線（8箇所）

- ・ 星川停車場線（保土ヶ谷区星川一丁目 星川駅付近） 星川
- ・ 長津田駅南口線（緑区长津田五丁目 長津田駅南口付近） 長津田
- ・ 平戸第42号線（東戸塚駅前広場） ほか 東戸塚

(4) 交通渋滞の解消につながるバスベイの設置（3箇所）

- ・ 片倉六角橋線（神奈川区神大寺四丁目～六角橋五丁目 神大寺郵便局付近） 片倉町
- ・ 県道原宿六ツ浦（金沢区朝比奈町 朝比奈バス停付近） 金沢八景
- ・ 県道大船停車場矢部（戸塚区上倉田町 上倉田バス停付近） 戸塚

(5) スムーズ交差点プラン（4箇所）

- ・ 県道瀬谷柏尾（泉区岡津町 岡津町交差点付近） 戸塚
- ・ 県道原宿六ツ浦（栄区上郷町 山手学院入口交差点） 本郷台
- ・ 県道瀬谷柏尾（瀬谷区二ツ橋町 二ツ橋交差点） ほか 三ツ境

2 一般改良事業（合計13箇所、完成予定3箇所、新規0箇所）

- ・ 笹下第293号線（磯子区森四丁目）
- ・ 綱島第228、243号線（港北区樽町）
- ・ 希望が丘第574号線（旭区中希望が丘） ほか

Ⅱ 道路維持管理

5	道路の維持・管理	
		千円
22年度	12,760,928	
21年度	13,040,426	
差引増△減	△ 279,498	
22 年 度 の 財 源	国費	6,600
	県費	25,557
	使用料	4,712,228
	諸収入等	313,919
	一般財源	7,702,624

歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路の適切な維持管理を引き続き行います。

なお、「道路修繕」については、21年度と同額の予算を確保しました。

1 道路修繕

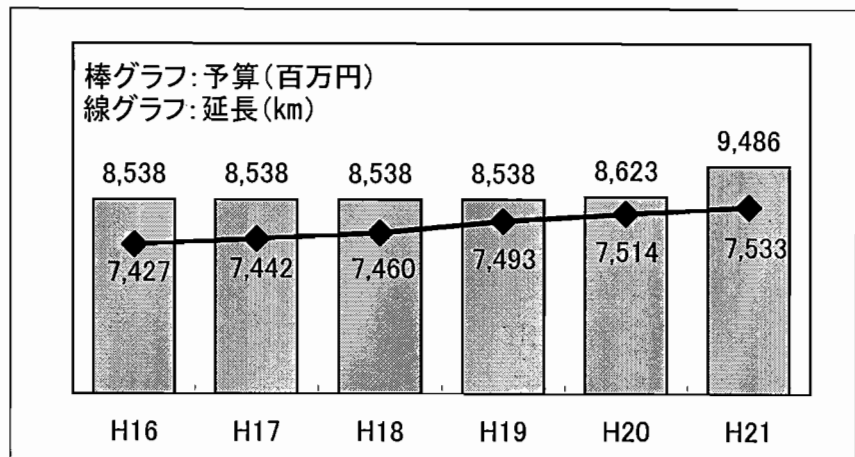
9,485,718 千円
(9,485,718)

舗装のわだち掘れ等、損傷が著しくなっている道路の計画的な修繕工事のほか、生活環境の向上につながる住宅地内の舗装補修や道路側溝の暗きょ化、駅周辺の安全性と利便性を確保する歩道や車道の舗装補修を実施します。

また、引き続き洪水・浸水による道路冠水など、水害に対する予防保全機能の強化に取り組みます。

※ 緊急経済対策として、事業費の一部について、22年2月補正で、21年度支出を伴わない（ゼロ）債務負担行為を設定し、22年度のすみやかな着工・前払いを可能にしました。

[参考] 道路修繕予算と本市管理道路延長の推移



2 道路清掃・施設管理 2,367,861 千円
(2,319,623)

車道等の清掃及び道路照明灯やエレベーター等の保守・管理を行います。

- ・ 道路、駅前広場等の清掃
 - ・ 道路照明灯管理
 - ・ エレベーター・エスカレーター管理
 - ・ ハマロード・サポーター事業 ほか
- ハマロード・サポーター団体数 256団体

3 街路樹、植樹帯管理事業 781,792 千円
(822,939)

都市に潤いと憩いを与えている街路樹及び植樹帯の植栽を良好に生育させるため、剪定等の維持管理を行います。

- ・ 街路樹管理 134,370本
- ・ 植樹帯管理 127.1ha

※ これ以外に、みどり保全創造事業費会計の歳出予算を活用し、「いきいき街路樹事業」として、街路樹剪定の充実を図ります。

4 街路樹の根上がり対策 100,000 千円
(150,000)

街路樹の根上がりにより、歩行者の安全な交通の妨げが生じている歩道を、樹木の良好な生育を確保しつつ、改善する工事を実施します。

- ・ いずみ野駅周辺
(泉区和泉町)
- ・ 本郷台駅周辺
(栄区小菅ヶ谷一丁目) ほか



根上がりにより凹凸が生じている歩道
(泉区・いずみ野駅前)

5 緊急経済対策（緊急雇用） 25,557 千円
(27,146)

- ・ 環状2号線歩道等特別清掃事業

Ⅱ 道路維持管理

6 橋りょう等の維持・補修		
		千円
22年度		1,417,492
21年度		1,410,328
差引増△減		7,164
22年度の財源	国費	—
	県費	57,855
	諸収入等	39,040
	市債	52,000
	一般財源	1,268,597

橋りょうの維持・補修及び長寿命化の推進等を行うほか、河川改修に伴う架替えを行います。

また、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地震に強い都市づくりを進めるため、橋りょうの地震対策及びトンネルの補修を引き続き行います。

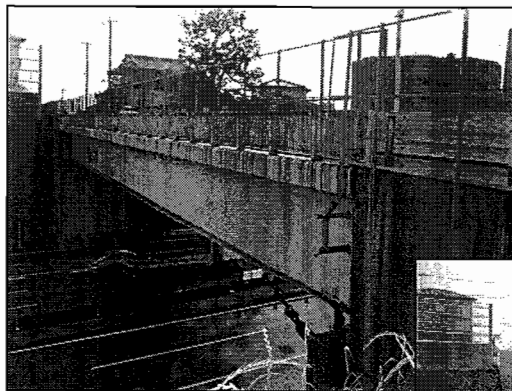
1 橋りょう長寿命化推進 679,209 千円 (675,095)

橋りょうを資産としてとらえ、計画的かつ効率的に維持管理する「アセットマネジメント」の考えに基づき、計画的に維持補修・塗装等を行います。

また、緊急の橋りょう補修についても引き続き対応を強化します。

- ・ 塗装塗替 25橋
- ・ 高欄修繕等 23橋
- ・ 職員への橋りょう点検技術研修の実施 ほか

※ このほかに、別項目「2 都市計画道路等の整備」、「3 国道及び主要地方道等の整備」、「11 河川等の整備」においても橋りょうの架替え等を計上



保土ヶ谷バイパスを跨ぐ
中沢橋（旭区）

2 橋りょう改良 (下線部分は22年度完成予定)

575,339 千円

(505,339)

河川改修に伴う架替えを行うほか、コンクリート片剥離落下等の事故を未然に防ぐため、こ線橋等の補修を計画的に行います。

- ・ 河川改修関連架替

境川橋 (泉区上飯田町～藤沢市高倉)

- ・ こ線橋等補修

伊勢橋 (西区西戸部町～伊勢町) ほか

3 橋りょう地震対策

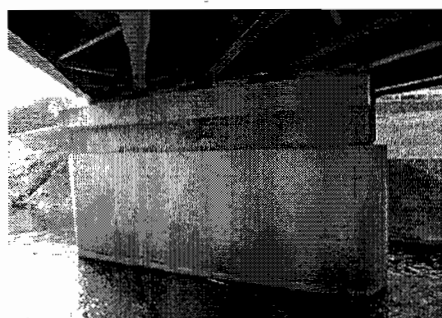
53,704 千円

(57,904)

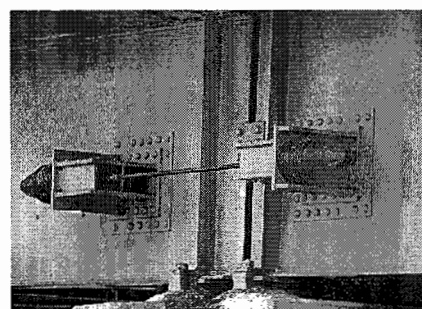
緊急輸送路にある橋、鉄道や道路を跨ぐ橋等を地震対策上の重要橋りょうと位置づけ、平成7年度以降、対策が必要となる366橋を対象に計画的な対策を実施し、平成21年度末までに340橋 (92.9%) の対策が完了しました。

引き続き、残る26橋を対象に橋脚補強及び落橋防止等の地震対策を計画的に行います。

- ・ 鍛冶ヶ久保橋 (戸塚区川上町～上品濃) ほか



鉄筋コンクリートを巻き、橋脚補強を施した橋 (常盤橋・青葉区)



PC鋼棒で桁を連結し、落橋防止を施した橋 (末吉橋・鶴見区)

4 トンネル補修

109,240 千円

(171,990)

トンネルのコンクリート片剥離落下を防ぐため、本体の補修等を行います。

- ・ トンネル補修

矢指隧道 (旭区矢指町)

- ・ トンネル点検調査等

Ⅲ 地域交通対策

7	地域交通対策	
	22年度	千円 3,195,989
	21年度	755,004
	差引増△減	2,440,985
22 年 度 の 財 源	国費	8,250
	使用料	—
	諸収入等	2,519,356
	市債	—
	一般財源	668,383

誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス等の交通施策の推進、バリアフリー新法に基づく基本構想の検討・策定及び駅舎改良を進めます。

1 横浜市生活交通バス路線維持支援 622,746 千円 (575,430)

バス路線の廃止による交通不便地域の発生等を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、必要と認められるバス路線に対し補助金を交付し、路線を維持します。

2 地域交通サポート事業 15,000 千円 (15,000)

地域にふさわしい交通サービスの実現に向けた地域主体の取組に対して、活動経費の助成や専門的な調査を実施するコンサルタントの派遣を行います。



本格運行中の乗合バス（戸塚区小雀地区）

3 まちのバリアフリー化推進調査 29,743 千円 (32,471)

駅周辺のバリアフリー化をより推進していくため、バリアフリー新法に基づく基本構想の検討・策定を引き続き行います。なお、策定のスピードアップを図るため、事前に市内全駅の歩行ルートや対象施設などの調査を行ったうえで、基本構想素案の案を作成します。

※区局連携事業（神奈川区、旭区）

神奈川区（〔仮称〕大口駅・子安駅周辺地区）及び旭区内（〔仮称〕二俣川駅周辺地区）バリアフリー基本構想策定業務を含む。

4 鉄道駅総合改善事業（羽田空港アクセス改善事業） 28,500 千円
(47,700)

羽田空港へのアクセスを改善し、市民の利便性向上を図ることを目的に、京急蒲田駅の鉄道駅総合改善事業により、横浜方面からの直通線を整備します。

5 横浜新都市交通㈱への出資 2,500,000 千円
(一)

横浜新都市交通株式会社が、車両等の設備の更新に必要な資金（※）の調達ができるよう、追加出資を行い、債務超過の解消を図ります。その後、支払いを猶予していた貸付金利子（約25億円）の償還を速やかに受け、これを出資の財源とします。

また、金融機関からの借入金に対して損失補償を設定します（13億円）。

※ 約104億円（うち約47億円は自己資金で対応）



シーサイドライン現行車両

IV 交通安全対策

8	交通安全対策	
	千円	
22年度	1,297,423	
21年度	1,893,145	
差引増△減	△ 595,722	
22 年 度 の 財 源	国費	—
	使用料	—
	諸収入等	14,400
	市債	—
	一般財源	1,283,023

歩行者の安全と円滑な道路交通を確保するため、交通事故が多発している路線や交差点などを重点として、既存道路において、交通安全施設や安全で快適に移動できる歩行空間を整備します。

また、交通事故防止に向け、交通安全運動や交通安全教育を実施します。

1 交通安全施設等の整備 623,671 千円 (911,073)

歩道、防護柵、案内標識、道路照明灯、安全灯、視覚障害者用誘導ブロック等の施設を整備します。

また、交通事故の多発している地点について、交差点改良等を行うとともに、小学校の通学路等において、あんしんカラーベルト事業を進めます。

2 交通安全施設の補修 616,580 千円 (899,184)

防護柵、案内標識、道路照明灯、歩道橋等の施設の補修を行います。

また、歩道橋について、歩道橋長期保全計画に基づき、長寿命化推進事業を進めます。

3 交通安全運動の推進等 57,172 千円 (69,204)

交通安全運動や広報・啓発活動を年間を通じて実施するとともに、幼児・児童や高齢者に対して、年齢や世代に応じた交通安全教育を行います。

- ・ 交通安全運動及び広報、啓発活動
 自転車マナーのリーフレットの作成、配付など
- ・ 交通安全教育
 幼稚園・保育園160園、小学校150校等で開催

IV 交通安全対策

9		放置自転車対策		<p>駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、引き続き自転車等放置防止対策を進めるとともに、自転車駐車場の管理運営及び整備を行います。</p> <p>1 自転車等放置防止 2,128,004 千円 (2,000,889)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車等放置防止対策 ・ 市営自転車駐車場の運営 ・ 民営施設の整備補助 <p style="margin-left: 40px;">※区局連携事業（西区）横浜駅周辺クリーンアップキャンペーン</p> <p>2 自転車駐車場施設の整備等 315,368 千円 (405,200)</p> <p style="margin-left: 20px;">市営自転車駐車場施設の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸塚駅（戸塚区戸塚町）など <p>3 緊急経済対策（緊急雇用） 157,154 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車等放置防止監視員の配置等 (82,834)
		千円		
22年度		2,600,526		
21年度		2,488,923		
差引増△減		111,603		
22年度の財源	県費	180,225		
	使用料	2,097,633		
	諸収入等	105,687		
	市債	78,000		
	一般財源	138,981		
10		自動車駐車場事業 (自動車駐車場事業費会計)		<p>安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。</p> <p>1 自動車駐車場管理運営 419,604 千円 (407,626)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福富町西公園地下駐車場 184 台 ・ ポートサイド地下駐車場 200 台 ・ 馬車道地下駐車場 225 台 ・ 山下町地下駐車場 219 台 ・ 日本大通り地下駐車場 200 台 ・ 伊勢佐木長者町地下駐車場 200 台 <p>公債費 853,304 千円 (854,013)</p>
		千円		
22年度		1,272,908		
21年度		1,261,639		
差引増△減		11,269		
22年度の財源	国費	16,775		
	使用料	400,228		
	諸収入等	2,601		
	市債	—		
	一般会計繰入金	853,304		

V 河川整備

11	河川等の整備	
	22年度	千円 4,400,237
	21年度	5,203,913
	差引増△減	△ 803,676
22 年 度 の 財 源	国費	1,271,280
	県費	1,045,000
	諸収入等	—
	市債	1,400,000
	一般財源	683,957

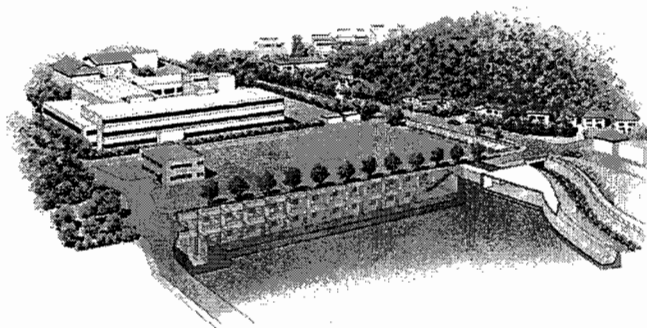
台風や集中豪雨から市民の生命・財産や都市機能を守るため、時間降雨量約50mmの雨に対応できるよう、護岸の改修、河川遊水地の整備を推進します。あわせて、河川への雨水の流出を抑制するための貯留施設を整備し、流域全体で保水・遊水機能の向上を図る総合的な浸水対策を進めます。

また、都市における河川は、源流から河口まで連続する空間であり、市民に身近な地域資源であることから、親水性を生かした都市空間としての広場やプロムナード等の整備を行います。

1 河川の改修 4,092,337 千円 (4,213,413)

都市基盤河川改修事業について、市内10の二級河川の護岸改修、河川遊水地の整備、橋りょうの架替え等を実施します。

準用河川改修事業については、4河川で護岸改修や橋りょうの架替え等を実施します。



舞岡川遊水地
(完成イメージ)

2 流域貯留施設の整備 246,000 千円 (501,000)

市街地に降った雨水をゆっくり河川に流すため、学校や公園を活用した貯留施設等を4箇所整備します。

3 河川環境の整備 61,900 千円 (489,500)

水と緑の基本計画に基づく、快適な水環境の保全と創造を目指し、4河川において、市民の憩いと潤いの場となるよう水辺拠点としての広場や管理用通路のプロムナード整備等を実施します。

主な整備内容 (下線部分は22年度完成予定)

1 河川の改修

(1) 都市基盤河川改修事業

- ・ 帷子川 護岸整備 (旭区川井本町) 等
- ・ いたち川 紅葉橋 (栄区上郷町) や神戸橋 (同) の架替え 等
- ・ 舞岡川 舞岡川遊水地の整備 (戸塚区舞岡町)
- ・ 中堀川 不動橋の設計 (旭区白根三丁目) 等
- ・ 今井川 J R岩間川橋りょう工事 (保土ヶ谷区岩井町ほか) 等
- ・ 阿久和川 阿久和三之橋の架替え (瀬谷区阿久和南二丁目) 等
- ・ 和泉川 上和泉橋の新設 (泉区和泉町) 等
- ・ 名瀬川 倉前橋の架替え (戸塚区名瀬町)
- ・ その他 平戸永谷川 (港南区上永谷五丁目ほか) や宇田川 (戸塚区深谷町) の河床整備等

(2) 準用河川改修事業

- ・ 日野川 光明橋の架替え (港南区日野七丁目) 等
- ・ 準用舞岡川 護岸整備等 (戸塚区舞岡町)
- ・ その他 相沢川 (瀬谷区下瀬谷一丁目) や黒須田川 (青葉区鉄町) の設計 等

※ 橋りょうの架替えは、このほかに別項目「2 都市計画道路等の整備」、「3 国道及び主要地方道等の整備」、「6 橋りょう等の維持・補修」においても計上

2 流域貯留施設の整備 (流域貯留浸透事業)

- ・ 桂台2号雨水調整池 既設の雨水調整池の容量拡大 (栄区上郷町・約6,100m³)
- ・ 新池雨水調整池 既設の溜池の容量拡大 (青葉区寺家町・約2,100m³)
- ・ 泉が丘中学校 貯留施設の整備 (泉区和泉町・約1,000m³)
- ・ すすき野公園 貯留施設の整備 (青葉区すすき野一丁目・約300m³)

3 河川環境の整備 (河川環境整備事業)

- ・ 和泉川 鍋屋の森水辺広場の整備 (泉区和泉町)、プロムナードの整備 (同)
- ・ 黒須田川 プロムナード等の整備 (青葉区鉄町ほか)
- ・ その他 奈良川 (青葉区恩田町)、日野川 (港南区日野七丁目) の設計・測量

[参考] 時間降雨量50mm対応の護岸整備の進捗率

	H20決算	H21決算	H22予算	備考
治水対策を要する河川	85.5%	85.8%	86.0%	28河川
都市基盤河川改修事業	90.3%	90.6%	90.7%	一・二級河川18河川 (うち9河川は完了)
準用河川改修事業	66.0%	66.4%	67.0%	10河川 (うち5河川は完了)

VI 河川維持管理

12	河川等の維持・管理	
	22年度	千円 984,463
	21年度	878,092
	差引増△減	106,371
22 年 度 の 財 源	国費	—
	使用料	123,324
	諸収入等	50
	市債	—
	一般財源	861,089

河川及び水路の維持管理のほか、親水拠点への警報装置の設置など、浸水被害を軽減するための取組を進めます。

また、水辺愛護会等の支援を行い、河川愛護意識の醸成を図ります。

1 河川・水路等の維持管理事業 861,310 千円 (795,217)

河川や雨水調整池等の治水施設の流水・貯留機能を確保するため、効率的にしゅんせつや除草等を実施します。

また、老朽化した護岸や水路・ポンプ排水型遊水地等の管理施設の補修等により、安全で安心できる施設管理を行います。

あわせて、一層の効率的な維持管理に向けて、施設の長寿命化に取り組みます。

※ 区局連携事業（泉区）を含む。

[横浜市が維持・管理する河川等]

- ・ 一級河川（指定区間） 3河川 5,980m
- ・ 二級河川（※） 12河川 48,125m
- ・ 準用河川 25河川 31,768m
- ・ 水路 約2,100km
- ・ 河川遊水地 8箇所

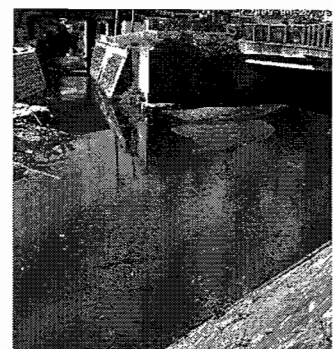
[その他管理施設]

- ・ 雨水調整池 210箇所
- ・ 流域貯留浸透施設 79箇所

※ 二級河川のうち、都市基盤河川改修事業を実施する河川は、横浜市で維持・修繕を行っています。



しゅんせつ前



しゅんせつ後

(鳥山川・砂田川合流点・港北区)

2 水防事業

101,710 千円
(64,911)

河川・水路からの洪水等による浸水被害を軽減するため、水防災情報システムにより水位や画像等の情報をホームページや電子メールで配信するとともに、水防資器材の備蓄・整備を行います。

また、親水拠点への警報装置を引き続き設置します。

※ 区局連携事業（都筑区）を含む。

- ・親水拠点警報装置の設置 7箇所
- ・水防災情報システム 27河川 59箇所（国・県を含む）

3 水政事業

21,443 千円
(17,964)

水質事故の処理、水路改廃に伴う境界確定などの管理を行います。また、地域の水辺環境を良好に維持することを目的とした水辺愛護会など、市民との協働による美化活動を進め、河川愛護意識の醸成を図ります。

- ・水辺愛護会団体数 89団体

そ の 他 事 業

13	そ の 他 事 業	
		千円
	22年度	9,756,782
	21年度	9,813,130
	差引増△減	△ 56,348
22 年 度 の 財 源	国費	—
	使用料	5,360
	諸収入等	25,021
	市債	—
	一般財源	9,726,401

1	私道対策事業	196,219	千円
		(202,872)	
	・私道整備助成【助成率9/10】 助成件数24件（見込）	60,000	千円
		(62,268)	
	・私道整備【全額市費】 整備件数4件（見込）	40,000	千円
		(44,385)	
	・公道移管助成	96,219	千円
		(96,219)	
	公区混乱地域内測量費 助成件数2件（見込）		
	〔 事業者が活動継続中の場合 【助成率1/2】 事業者が解散等の場合 【全額助成】 〕		
2	職員人件費	7,208,798	千円
		(7,109,371)	
3	特別会計繰出金（自動車事業費会計繰出金除く）		
		1,958,445	千円
		(2,087,151)	
	・駐車場事業費会計繰出金	853,304	千円
		(854,013)	
	・公共事業用地費会計繰出金	1,105,141	千円
		(1,233,138)	
4	その他の事業	393,320	千円
		(373,736)	
	道路台帳整備費、道路用地整備費（公道移管助成除く）等		

[参考] 道路局におけるA P E C関連事業

事業名	予算額	事業内容	「事業概要」での記載箇所
1 A P E C交通安全 対策事業	39,434千円	中央分離帯や車止め等の 交通安全施設の整備	19ページ「1 交通安全施設 等の整備」に含む
2 A P E C開催に伴う 放置自転車対策	25,119千円	放置防止監視員の配置等 (緊急雇用創出事業)	20ページ「1 自転車等放置 防止」に含む
3 A P E C放置自転車等 対策事業	15,000千円	撤去した放置自転車の保 管場所の整備	20ページ「2 自転車駐車場 施設の整備等」に含む
4 A P E C自主警戒 (河川対策)	13,000千円	水域規制のための河口へ のフロート設置	23ページ「1 河川・水路等 の維持管理事業」に含む

計 92,553千円

2010年日本 APEC 横浜開催

11月7-14日



平成22年度 横浜市道路局運営方針

基本目標

将来にわたって、横浜が元気で、市民が安全で安心して生活できるまちを目指して、「チーム道路」で取り組みます！

目標達成に向けた施策・運営

①国際化と経済の活性化に向け、活力ある豊かなまちへ！

・人やモノの移動、国際都市横浜における多様な交流・連携を支え、市民生活の利便性の向上や、経済の活性化を目指し、道路や河川などの都市基盤を充実させます。

②市民の暮らしの充実を図り、ぬくもりのある安全・安心なまちへ！

・市民の安全で安心な暮らしの充実を図るため、交通事故や災害、さらには地域交通などの課題の解決に向けて取り組みます。また、ぬくもりのある行政サービスの充実を目指し、市民目線・現場目線で道路・河川施設の適切な維持管理を行います。

③道路・河川における環境対策を進め、地球にやさしいまちへ！

・地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出削減など、環境対策は喫緊の課題です。道路局においても、「横浜市脱温暖化行動方針」(CO-D030)等に基づき、道路や河川整備において、環境対策への取組を推進します。

④今ある施設をかしこく使うまちへ！

・管理施設の老朽化が進むため、今後、維持管理、保全及び更新のための費用が増大することが予想されています。このため、維持保全を効率的かつ適正に行うなど、既存ストックの有効活用を進めます。

⑤現場目線で、市民とともに喜びを実感し、共有できる職場づくり！

・道路・河川の整備は、完成までに長い年月を必要とするため、道路局には、困難に負けず粘り強く着実に事業に取り組むスピリッツ（魂）が息づいています。この道路局の「魂」を継承しつつ、道路局職員が誇りを持って仕事に取り組み、市民とともに、喜びを実感し共有できる職場づくりを進めます。

目標達成に向けた姿勢

①積極的な情報提供

道路局の事業をより多くの市民のみなさまに関心とご理解をしていただくため、引き続き積極的な情報提供・情報発信を行います。



道路ふれあいフェスタ

②市民との協働と共創

市民と行政が、お互いに協力し合い、地域や社会の課題に協働で取り組み、解決します。



ハロー・ホーターによる道路の美化活動

③市民ニーズ

市民目線で、市民が必要とする整備を行うため、道路に関する市民意識調査を行うとともに、市民要望、土木事務所での陳情などに適切に対応します。



迅速な要望対応

④選択と集中

限られた予算で、効果的に事業を進めるため、事業の重要性や緊急性、整備効果などを総合的に勘案し、「選択と集中」により事業を進めます。



⑤「チーム道路」で推進します！

「チーム道路」として目標達成に向け、職員一人ひとりが目標や課題を共有し、コミュニケーションを図りながら、仕事の中で喜びと充実感をもてる、明るく元気な職場づくりを行います。



主な事業・取組

① 国際化と経済の活性化に向け、**活力**ある豊かなまちへ！

<道路ネットワークの形成等>

【主な事業・取組】

- ①-1 高速道路(横浜環状道路)の整備⇒
- ①-2 幹線道路の整備 ⇒
- ①-3 駅まで15分道路整備 ⇒

【指標】

- 北線:本線トンネル工事の推進
- 南線:用地取得の推進、北西線:都市計画決定
- 3路線3地区 1.6km完成
- 1.5km完成

【その他の取組】

都市計画道路網の見直し/鉄道と道路の立体交差事業/直轄国道事業/総合的な治水対策



①-1 高速道路の整備
横浜環状北線(新横浜立坑:港北区)



①-2 幹線道路の整備
山下長津田線(鴨居地区:緑区)



①-3 駅まで15分道路の整備
県道阿久和鎌倉の交差点改良(和泉町地区:泉区)

② 市民の暮らしの充実を図り、ぬくもりのある**安全・安心**なまちへ！

<安全で快適な歩行空間整備、地域交通サービス、防災対策、維持管理等>

【主な事業・取組】

- ②-1 バリアフリー歩行空間整備
- ②-2 あんしんカラーベルト事業
- ②-3 交通安全啓発
- ②-4 地域交通サポート事業
- ②-5 流域対策
- ②-6 日常の維持管理

【指標】

- ⇒ バリアフリー化整備延長:2.9km完成
- ⇒ 36km完成
- ⇒ 交通事故件数:前年比5%減
- ⇒ 新たな実証運行の実施
- ⇒ 雨水貯留施設整備:2箇所
- ⇒ 道路・河川パトロールの計画的実施

【その他の取組】

街路樹管理/踏切安全対策/自転車駐車場整備/放置自転車対策/自転車道整備/河川の改修/生活交通バス路線の適切な維持/電線類の地中化/効率的な維持補修/道路台帳整備/路線の認定・廃止



②-1 バリアフリー歩行空間整備
歩道のバリアフリー化(関内駅周辺地区:中区)



②-2 あんしんカラーベルト事業
路側帯のカー舗装化(港南区)



②-4 地域交通サポート事業
新たな路線型乗合タクシー(こすずめ号:大船駅)



②-5 流域対策
東中田小学校(地下式貯留:泉区)

主な事業・取組

③ 道路・河川における環境対策を進め 地球にやさしいまちへ！

<地球温暖化対策の推進>

【主な事業・取組】

③-1 道路の温暖化対策

【指標】

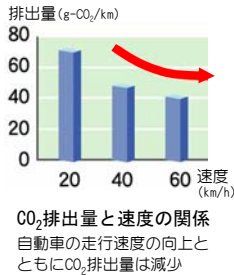
⇒ 幹線道路の整備：1.6km完成（渋滞解消により、自動車の走行速度が向上し、CO₂排出量を削減）（再掲）など

③-2 水と緑のネットワーク

⇒ 河川環境整備：4河川

【その他の取組】

安全で快適な歩行空間整備（再掲）、地域交通サービスの充実（再掲）、道路照明の省エネ化



渋滞解消



③-1 道路の温暖化対策
幹線道路の整備（環状4号線：栄区）

渋滞解消によるCO₂削減量：385 t-CO₂/年
（森林換算で約36.3haの吸収量）



③-2 水と緑のネットワーク
河川環境整備（和泉川：泉区）

④ 今ある施設をかしこく使うまちへ！

<既存施設等の有効活用>

【主な事業・取組】

④-1 計画的な施設管理

【指標】

⇒ 3橋の補修事業の完了

④-2 施設の有効活用・財源確保

⇒ 9,000万円の収入確保

【その他の取組】

歩道橋補修／舗装修繕計画策定／品質確保とコスト縮減



④-1 計画的な施設管理
橋梁補修（跨道橋のコンクリート剥離対策）



④-1 計画的な施設管理
歩道橋補修（歩道橋の点検）



④-2 施設の有効活用・財源確保
道路施設のネーミングライツ（ハイオクターウォーク：横浜駅）

⑤ 現場目線で、市民とともに喜びを実感し、共有できる職場づくり！

【主な事業・取組】

⑤-1 積極的な情報提供

【指標】

⇒ 事業説明会の実施（適宜）

⑤-2 ハマロードサポーター／水辺愛護会

⇒ 活動の充実

⑤-3 市民満足度の向上への取組

⇒ 迅速かつ適切な要望対応

⑤-4 ワークライフバランスの推進

⇒ 休暇取得率の向上と定時退庁日の実践

【その他の取組】

市民ニーズの把握／組織目標や課題の共有化／人材育成／区と局との連携強化

道路局 ニュース 地球温暖化対策の推進

1. つくって減らすCO₂

道路整備



- ◎道路をつなげる
- ◎交差点をスムーズにする
- ◎踏切をなくす

渋滞を減らして車がスイスイ走れるように、道路をつくります。
渋滞が減ると少ない燃料で車が走れるので、CO₂を減らせます。

2. 活かして減らすCO₂

道路空間の活用



- ◎照明を省エネ化する
- ◎道路に緑を増やす

今ある道路を上手につかったり、設備をよりE C Oなものに変えたりすることで、CO₂を減らせます。

3. シフトして減らすCO₂

移動手段の選択



- ◎バスや電車を使いやすくする
- ◎自転車を使いやすくする

今ある道路を上手につかったり、設備をよりE C Oなものに変えたりすることで、CO₂を減らせます。

道路局 ニュース

～横浜環状北線の整備～

横浜環状北線は、今年の秋頃、いよいよトンネル掘削工事を開始します！

外径12.3m、延長5.5kmの、大断面・長距離トンネルとなります。

横浜環状道路の推進



工事で使用するシールドマシン(イメージ)

道路局 ニュース

親水拠点等への警報装置の設置

近年、ゲリラ豪雨等は増加傾向にあり、他都市では、親水拠点での死亡事故も発生しています。

そこで、市民の安全を確保するため、平成22年度は、子供たちの利用が多く、規模が大きい親水拠点や、道路冠水が想定される道路のアンダーパス部に、それぞれ7箇所警報装置を設置します。



親水拠点での警報装置

道路局運営方針に対するご意見、ご感想をお聞かせください。

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

横浜市道路局総務課

TEL 671-2762/FAX 651-6527

do-homepage@city.yokohama.jp

あなたの毎日に、エコをプラスしよう。

Yokohamaエコ活。

2010年日本APEC 横浜開催
11月7-14日